

参加
無料令和7年度
地域脱炭素セミナー

2050年までの「ゼロカーボン北海道」実現に向け、脱炭素施策に取り組む中、釧路管内における再エネ導入量は、再エネポテンシャル比で見ると0.8%に留まっており、ゼロカーボン推進に向けた伸び代が多く残されているほか、地域産業や地域経済の活性化などの地域課題を抱えております。

本セミナーでは、地域振興・産業振興の観点から見た脱炭素に関する取組の必要性や住民及び事業者との合意形成、地域新電力の基礎知識などについて講演していただくとともに、脱炭素施策に先進的に取り組む釧路町の取組事例や道が実施する新エネ・省エネに関する支援制度・補助事業についてご紹介いたします。

2026年1月27日(火)
14:45~16:25(開場14:15)
釧路市生涯学習センター
まなぼっと幣舞 学習室602
(釧路市幣舞町4-28)

Program プログラム

○開会挨拶 (14:45~)

高尾 充 (北海道釧路総合振興局 産業振興部長)

○基調講演① (14:50~)

「(仮)地域が主役となる脱炭素社会の形成に向けて」

堂屋敷 誠 氏 (北海道自然電力株式会社 代表取締役副社長)

○市町村の事例紹介 (15:30~)

「釧路町におけるゼロカーボンの取組」

釧路町環境生活課環境政策係

○道からの情報提供 (15:45~)

「(仮)令和7年度 新エネ・省エネに係る補助事業の紹介」

北海道経済部GX推進局GX推進課新エネルギー係

○基調講演② (15:55~)

「地域による地域のための地域新電力の作り方」

稲垣 憲治 氏 (一般社団法人ローカルグッド創成支援機構 事務局長)

○閉会 (16:25~)

※セミナー終了後、名刺交換会の実施を予定しております。

参加申込みについて

対 象：脱炭素に関心のある自治体、
民間企業、団体の方など定 員：会場40名
オンライン (Zoom) 100名

申込方法：下記URLまたは右記2次元コードから申し込み願います。(1/22(木)まで)

参加申込フォームURL：<https://www.harp.lg.jp/HDFxYkYQ>

基調講演 講師紹介



堂屋敷 誠 氏

北海道自然電力株式会社
代表取締役副社長

石狩市在職中に、同市の産業エリアに地域の再エネを活用し、地域の脱炭素化と産業集積の両立を目指す「REゾーン構想」の企画立案及び事業推進を担当。再エネによるデータセンター事業など、脱炭素と地域の産業振興を同時に実現するため、企業との協働による先駆的な事業化に従事。2023年4月に自然電力株式会社に参画。事業企画部において地域連携事業を統括し、地域の脱炭素を通じた地域活力の創造を目指す。

2024年3月に北海道自然電力を設立。代表取締役副社長に就任。現在、北海道科学大学工学部都市環境学科客員教授、環境省脱炭素まちづくりアドバイザー、総務省GXアドバイザー。



稲垣 憲治 氏

一般社団法人
ローカルグッド創成支援機構 事務局長

文部科学省、東京都庁を経て、地域エネルギー事業による脱炭素&地域活性化への思いが高じ、2020年から現職。これまで自治体の再エネ普及施策企画、地域新電力の設立・運営などに従事。現在は、地域新電力設立・運営支援、環境・まちづくり支援に全力で取り組んでいる。

環境省、経産省、14自治体の各種検討会等委員、総務省地域力創造アドバイザーなど。著書に「ゼロカーボンシティ」、「地域新電力-脱炭素で稼ぐまちを作る方法-」(ともに学芸出版社)など

